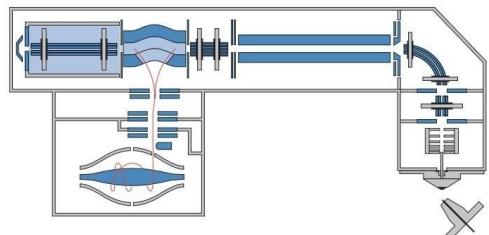


# 質量分析計(Thermo Orbitrap QE plus)利用者説明会及び技術セミナーのお知らせ

Schematic of the  
Thermo Scientific Q Exactive Benchtop LC-MS/MS

学際科学実験センター遺伝子研究施設には、  
学内措置により、タンパク質や代謝物の分析に適し、  
プロテオミクス、メタボロミクスが可能な質量分析計  
Orbitrap QE plus が導入されております。

プロテオミクスの受託解析は、すでに多くの方に利用  
していただいおりますが、代謝物分析用にUPLC (Ultimate  
3000)を新たに導入致しましたので、教職員、大学院生、  
学部生を対象に、角間地区と宝町地区で利用者説明会及び技術セミナーを開催致  
します。具体的な解析内容について、セミナー後にご相談いただくことも可能です。



質量分析計の利用を検討されている方や興味のある方は、  
本セミナーと説明会に是非御参加いただければと思います。事前申し込みは不要です。  
利用を希望される方でご都合の悪い方は、下記の問合せ先まで御連絡ください。

- 角間キャンパス  
2019年12月18日（水）13:30-15:00  
**自然科学研究科棟本館102 講義室**
- 宝町キャンパス  
2019年12月18日（水）16:00-17:30  
**医学部F棟1階修士課程セミナー室**

内容： 質量分析計の利用についての説明

学際科学実験センター遺伝子研究施設 西内 巧  
Orbitrap の技術セミナー（別紙参照）  
サーモフィッシュ・サイエンティフィック社 肥後 大輔氏  
サーモフィッシュ・サイエンティフィック社 石橋 愛実氏

問い合わせ先：

学際科学実験センター・遺伝子研究施設

担当：西内 巧

E-mail: tnish9@staff.kanazawa-u.ac.jp

TEL: 076-265-2772



## 質量分析計(オービトラップ)技術セミナー in 金沢大学 <Q Exactive Plus のご紹介>

弊社独自の電場型フーリエ変換質量分析計 (Orbitrap<sup>TM</sup>) テクノロジーを用いた質量分析計は、お客様のニーズに合わせて進化を遂げ、発売10年を経過いたしました。

大学や製薬企業を中心に国内の販売台数も400台を超え、様々なアプリケーションでご使用頂いております。一昨年、金沢大学遺伝子研究施設様にも導入いただき、今後の活用に向け、今回このテクノロジーの特徴と、定性/定量分析の両方で活躍するQ Exactive 質量分析計を用いたアプリケーションを中心にご紹介させて頂きます。

お忙しいところ恐れ入りますが、是非ともご参加下さいますようお願い致します。

日時：2019年12月18日（水）13:30～15:00

場所：角間キャンパス 自然科学研究科棟本館102 講義室

日時：2019年12月18日（水）16:00～17:30

場所：宝町キャンパス 医学部F棟1階 修士課程セミナー室

(2会場、同じ内容になります。)

### <内容>

	詳細
1. オービトラップの基礎	オービトラップ質量分析計の原理や特性
2. プロテオミクスのアプリケーションのご紹介	<ul style="list-style-type: none"><li>・ショットガンプロテオミクス</li><li>・リン酸化ペプチド</li><li>・TMT定量 &amp; ラベルフリー定量</li><li>・タンパク質 構造解析のご紹介</li></ul>
3. メタボロミクスのアプリケーションのご紹介	<ul style="list-style-type: none"><li>・代謝物の網羅的分析手法について</li><li>・LC/MSを用いた低分子化合物の網羅的解析ワークフロー</li><li>・ターゲットメタボロミクス</li><li>・データ解析ソフトウェアのご紹介</li></ul>